



決め手は、青森県産。

りんご生産情報第11号  
(9月21日～10月4日)

令和元年9月20日発表 樹上選果マン  
青森県「攻めの農林水産業」推進本部

収穫始めはトキ9月27日頃、早生ふじ9月28日頃!!  
早もぎせず、味をのせて適期収穫を!  
台風にも備え、風害防止対策を万全に!!!

## I 概要

黒石でのトキの収穫始めは9月27日頃、早生ふじの収穫始めは9月28日頃と見込まれる。昨年早もぎにより食味の劣るトキが輸出され、青森県産りんごの評価を落としたことから、早もぎせず、味をのせて適期に収穫する。

地域によって収穫適期が前後することから、収穫に当たっては、地域毎の熟度調査結果を参考に、果実の地色や食味等を確認する。

園地によっては、すでにふじの葉摘みを行っているところも見受けられるが、葉摘みは、早くから強く実施すると品質低下を招くので、はじめは果実に密着した葉を摘む程度にとどめ、その後、果実に日陰をつくる葉を摘み取る。

除袋は、ジョナゴールドで9月25日まで、ふじで10月5日までに終える。

黒星病の発病葉・発病果は感染源となるので、葉摘み等の作業の際にも見つけ次第摘み取り、処分する。二次伸長葉に黒星病の発生が見られた場合は、来年の感染源となるので、必ず摘み取って処分する。

台風の接近が多くなるので、台風にも備え、防風網の点検、補強など風害防止対策をしっかりと行う。

<報道機関用>

報道機関用提供資料	
担当課	りんご果樹課
担当者	生産振興グループ 総括主幹 小松弘明
電話番号	直通 017-734-9492 内線 5092
報道監	農林水産部 次長(農商工連携推進監) 船水浩人 内線 4967

## II りんご生産情報

### 1 果実肥大、作業の進み

#### (1) 果実肥大

9月11日現在の果実肥大は、概ね平年並みから平年を上回っている。

地域	年	つがる	ジョナゴールド	ふじ
黒石 (りんご研究所)	本年	8.4	/	7.7
	平年	8.8		8.0
	前年	9.2		8.2
	平年比	95		96
弘前市独狐 (中南地域県民局)	本年	/	8.7	8.5
	平年		8.4	7.9
	前年		8.5	7.8
	平年比		103	107
板柳町五幾形 (西北地域県民局)	本年	/	8.7	8.5
	平年		8.8	7.9
	前年		9.4	8.3
	平年比		99	108
三戸町梅内 (三八地域県民局)	本年	8.8	8.1	7.9
	平年	8.9	8.4	7.7
	前年	8.8	8.4	7.9
	平年比	99	96	103

※各県民局のデータは農業普及振興室の生育観測ほの調査データ

#### (2) トキの果実熟度

9月19日現在、黒石（りんご研究所）では、平年値と比較して、糖度は高く、表面色指数及び硬度は同程度、酸度及びヨードでんぷん反応指数は低い。総合的にみて、熟度は平年よりやや進んでいるものの、収穫適期には達していない。

トキの熟度の進み (9月19日現在)

地域	年	果重 (g)	硬度 (lbs)	糖度 (%)	ヨード反応	表面色指数	酸度 (g/100ml)
黒石 (りんご 研究所)	本年	271	17.5	15.6	2.2	1.7	0.241
	平年	280	17.4	14.2	2.8	1.6	0.271
	前年	294	16.0	14.2	1.9	1.5	0.227

注) 1 平年は平成25～30年の6か年平均

2 ヨード反応：0～5 小さい数値ほどでんぷんが少ない

3 表面色指数：りんご黄色品種青森県標準カラーチャート（青森県りんご協会発行）の指数1～6  
大きい数値ほど黄色が濃い

(参考) 各地域県民局のトキの熟度の進み

9月19日の熟度調査の結果では、各地域とも収穫適期には達していない。

トキの熟度の進み

(9月19日現在)

地 域	台木	果重 (g)	硬度 (lbs)	糖度 (%)	ヨード反応	表面色指数	食味
青森市田茂木野	普通台	274	18.3	13.0	2.5	1.3	2.8
青森市浪岡吉内	わい化	288	16.4	14.4	1.8	2.0	3.7
弘前市独狐	普通台	326	17.0	13.9	2.5	1.7	2.6
平川市金屋	普通台	320	17.6	15.0	2.5	1.4	2.9
五所川原市原子	普通台	275	16.7	12.9	3.1	1.6	2.4
八戸市南郷島守	わい化	275	16.4	14.0	2.6	2.0	2.2

注) 1 ヨード反応及び表面色指数はりんご研究所調査と同様

2 食味 (1～5)

5 : 非常に良好、4 : 良好、3 : やや未熟であるが食べられる、

2 : 未熟であり食用としてはやや不適、

1 : 未熟であり食用としては不適

(3) 作業の進み (9月18日現在)

つがるの収穫はほぼ終了した。

ふじや無袋のジョナゴールドで葉摘みが行われている。

ジョナゴールドの除袋がはじまっている。

## 2 作業の重点

### (1) トキ、早生ふじなどの収穫

熟度は平年よりやや進んでいる。収穫始めは黒石で、トキが9月27日頃、早生ふじが9月28日頃と見込まれる。

昨年早もぎにより食味の劣るトキの果実が輸出され、青森県産りんごの評価を落としたことから、早もぎせず、味をのせて適期に収穫する。地域によって収穫適期が前後することから、収穫に当たっては、地域毎の熟度調査結果を参考に、果実の地色や食味等を確認する。

収穫後は、速やかに冷蔵施設への搬入や出荷を行う。

### ア トキ

適期収穫のため、地域毎に熟度調査や目揃え会を実施するなど早もぎ防止に努める。

熟期が揃わないので、「標準カラーチャート」などによる表面色指数の判定や食味の確認により、3回程度に分けて、表面色指数4以上の果実を収穫する。その場合、1回目の収穫は表面色指数の3～5の果実が全体の半量程度に達したら行う。

表面色指数5以上の果実は、食味は良いが、貯蔵中に軟質化する場合があるので即売向けとする。

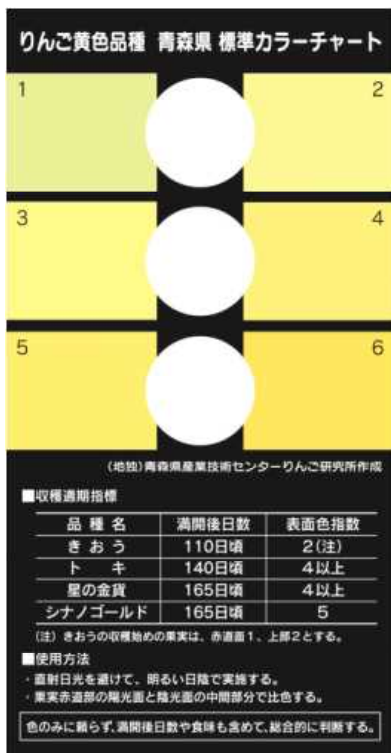
また、日焼け果やガク割れ果は、出荷先の選果基準に基づき選別する。

特に日焼け果は、貯蔵中の陽向面やけの発生を助長するので、十分注意する。

#### トキの収穫時の標準指標

食味	糖度 (%)	ヨード反応 (0～5)	硬度 (lbs)	表面色指数 (1～6)
4以上	14以上	1.5以下	14～15	4以上

※表面色指数はりんご黄色品種青森県標準カラーチャートの指数



↑ 写真カラーチャートシール  
(りんご黄色品種青森県標準カラーチャートをシール化したもの)

← 写真 りんご黄色品種青森県標準カラーチャート  
※お問い合わせ先：公益財団法人青森県りんご協会  
電話 0172-27-6006

## イ 早生ふじ

収穫時期が早すぎると糖度が低く食味が劣り、遅すぎると果肉が軟化し、貯蔵力が低下するので、2回くらいに分けて収穫する。

### 早生ふじの収穫時の標準指標

食味	糖度 (%)	ヨード反応 (0~5)	硬度 (lbs)
3.5以上	13以上	2.0以下	14~16

## (2) 中・晩生種の着色手入れ・除袋

早くから葉を強く摘みすぎると、鮮やかな色が着かないばかりでなく食味を低下させるので、はじめは果実に密着した葉を摘む程度にとどめ、その後、果実に日陰をつくる葉を摘み取る。なお、高温時の葉摘みは、日焼けを助長させるので避ける。

摘葉剤ジョンカラープロを利用する場合は、ふじのみとし、使用時期は「収穫40~50日前」とする。散布後30日間は収穫できないので注意する。

除袋は、ジョナゴールドで9月25日まで、ふじで10月5日までに終える。着色ムラをなくし、リンゴコカクモンハマキの食害を防ぐため、外袋をはぐ時は、果実に密着している葉を摘み取る。なお、日焼けの発生を防ぐため、内袋をはぐ時は曇天か晴天の日中(10時~14時)に行うが、高温時は避ける。

### (3) 風害防止対策

台風に備え、防風網やわい性台樹の結束などについて点検し、補強や取り替えを行う。

また、幹や主枝などに空洞が生じている樹や、腐らん病の被害等を受けた枝や樹は、支柱で支え、縄などで補強する。わい化樹や幼木は倒伏しやすいので、再度支柱のぐらつきや主幹との結束状況を点検し、補強する。

### (4) 樹上選果

高品質りんご生産のため、肥大や形が悪い果実や黒星病等の病虫害被害果、障害果を摘み取る。なお、摘み取った病虫害被害果は適正に処分する。

有袋果は、除袋後、丁寧に見直しを行う。

### (5) 黒星病対策

発病葉・発病果は感染源となるので、葉摘み等の作業の際にも見つけ次第摘み取り、処分する。

二次伸長葉に黒星病の発生が見られた場合は、来年の感染源となるので、必ず摘み取って処分する。

### (6) モモシンクイガ被害果の除去

モモシンクイガによる被害果を流通させないために、収穫した果実は、選果時に徹底して選別する。被害果は見つけ次第、7日以上の水漬けなど適切に処置をする。

### (7) 腐らん病対策

夏場には、病斑の拡大が一時停止していたが、今後、降雨により未処置病斑から孢子が飛散し、来年以降の発生につながる。胴腐らんの治療部を再度点検し、病斑の伸展が見られる場合は直ちに適切な処置を行う。

### (8) 鳥害防止対策

ムクドリ（サクラドリ）、ヒヨドリ、カラスなどの被害が大きいところでは、防鳥網を使用する。なお、防鳥網の網目は35mm以下とする。

## 3 一般作業

- (1) 草刈り (2) 徒長枝整理、枝吊り、支柱入れ

## 4 今後の作業予定

- (1) 中・晩生種の着色手入れと中生種の収穫 (2) 果実疫病対策  
(3) 風害防止対策 (4) 腐らん病対策 (5) 支柱の手直し  
(6) 鳥害防止対策

— 樹上選果推進期間（8月下旬～収穫期） —

美味しいりんごを届けよう！

《 農薬使用基準の遵守 》

農薬を使用する場合は、必ず最新の農薬登録内容を確認する。

また、短期暴露評価の導入により使用方法が変更される農薬は、登録内容の変更前であっても、変更後の使用方法で使用する必要があるため、変更の有無を次のWebサイトで確認してから使用する。

○農林水産省「農薬情報」

[http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n\\_info/](http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/)

○(独)農林水産消費安全技術センター「農薬登録情報提供システム」

[http://www.acis.famic.go.jp/index\\_kensaku.htm](http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm)

○青森県農業情報サービスネットワーク「アップルネット」農薬情報

<http://www.applenet.jp/>

農薬の使用にあたっては、事前に周辺住民に対し、農薬の散布日時や使用者の連絡先等を十分な時間的余裕を持って知らせる。また、農薬の飛散により、周辺作物や近隣の住宅等に被害を及ぼすことのないように、農薬飛散低減対策に留意して散布する。

《 ポジティブリスト制への対応 》

農薬の飛散により、周辺住民及び作物に被害を及ぼすことのないように、散布情報の提供・交換等地域が連携し、農薬飛散低減対策に留意して散布を行う。

～農業保険（農業共済及び収入保険）への加入について～

自分にあったセーフティネットに加入し、農業経営に万全の備えを！

○農業共済

「農業共済」は、自然災害等により農作物・家畜・園芸施設に損害が生じた場合に補償される制度です。

○農業経営収入保険

令和元年から始まった「農業経営収入保険」は、自然災害に加え、農産物の価格低下などにより販売収入が減少した場合に補償される制度です。加入には、青色申告の実績が条件となっています。

※詳しくは、お近くの農業共済組合にお問い合わせください。

